



# 賢く 優しく 逞しく

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/>

5月号・令和6年5月1日発行  
武蔵村山市立第五中学校

## 伝統を重ねる

校長 榎戸 千代子

庭木のツツジが色とりどりに咲き誇り、見頃を迎えています。先月下旬から急に暑くなり、初夏を思わせる気候となってきました。二十四節気の一つである「立夏」は、「夏が立つ」と書くように、夏の兆しが見え始める頃という意味です。今年の「立夏」は、5月5日（日）で、19日（日）までの期間だそうです。これからますます暑くなると思います。連休が明けると「運動会」の練習が始まります。水分補給のための水筒や汗拭きタオルの準備もよろしくお願いいたします。



さて、5月1日（水）は、本校の開校記念日です。昭和55（1980）年に第一中学校から分かれて、市内で5番目の中学校として誕生しました。開校当初は校舎のみで、その後7月にプールが、10月にテニスコートや体育館が完成しました。今年の3月末で卒業生は、9430名となりました。

校章は武蔵村山市の特産である、お茶の葉と花をデザインしています。3枚の葉は、教育目標の「賢く・優しく・たくましく」を示し、さらに3つの学年も意味し、10本ある葉脈は調和と完全を象徴していると言われています。

開校当時の「明るく元気なあいさつ」は、今年度も学校経営方針の一つとして推進しています。校内でのあいさつのみならず、校区小学校の児童会とも連携して「合同あいさつ運動」としても受け継いでいます。また、平成16（2004）年から始まった「五中フェスティバル」は、地域や保護者の皆様の御協力のおかげで、伝統行事として長く継承されています。生徒の手で創りあげる「学校行事が盛んな学校」、「部活動が盛んな（強い）学校」、「保護者や地域と連携している学校」として現在に至っています。

今年度は、さらに市の「特色ある学校づくり推進校」1年目として、「生命尊重と思いやりの心をもった生徒の育成」を目指して研究を進めてまいります。早速、先月4月10日（水）には、市教育委員会より丹羽指導主事を講師としてお招きし、教職員を対象に「いじめ防止研修会」を行い、いじめの定義や対応について理解を深めました。また、4月15日（月）の全校朝礼では校長より「あいさつ、生命尊重、思いやり」の大切さについて講話を行いました。4月30日（火）には、警視庁東大和警察署少年係の皆様をお招きし、全校で「いじめ撲滅講演会」を実施しました。今、各クラスの教室や廊下には、道徳の授業で取り組んだ「いじめ撲滅宣言」が掲示されています。

五中の良き伝統を受け継ぎ、そして、今年度はさらに「生命尊重と思いやりの心」を加え、自分や相手の命を大切にし、思いやりの心をもって接することのできる生徒を育成してまいります。保護者、地域の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

明るいあいさつ・みんなの笑顔

第五中学校区（二小・八小・十小・五中）